

**茨城県内中学校における
環境教育実態調査
報告書**

平成30年10月

茨城県

認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

茨城県内中学校における環境教育実態調査報告書

調査概要

名称	茨城県内中学校における環境教育実態調査
目的	茨城県内中学校で環境教育を実施するためのパンフレットを作成するにあたり、環境教育の実態を把握する。
期間	2018年9月19日～28日
対象	茨城県内中学校の環境教育担当教諭
対象数	全225校
回答数	148校
回答率	65.8%
方法	eメールによる書面調査
主体	茨城県教育庁 学校教育部 義務教育課、茨城県 県民生活環境部 環境政策課、認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ（茨城県より「中学生向け環境教育プログラム作成に関する業務」を受託）

① 学年ごとの年間のおおよその環境教育実施時数を教えてください。

学年	1年			2年			3年		
	合計時数	クラス数	1クラスあたり	合計時数	クラス数	1クラスあたり	合計時数	クラス数	1クラスあたり
平均	12.2	3.4		13.1	3.5		16.1	3.6	
中央値	8.0	3.0		8.0	3.0		10.0	3.0	
合計	1,748	494		1,868	514		2,290	523	
最大値	98	10	98	156	10	52	108	10	50.5
最小値	0	1	0	0	1	0	0	1	0
回答数	145	147		145	147		144	147	
回答率	64.4%	65.3%		64.4%	65.3%		64.0%	65.3%	

② 実施している環境教育の分野は何ですか？頻度の多いものを選択肢の中から3つお選びいただき、頻度の多い順に記入してください。

学年	1年			2年			3年		
	1番	2番	3番	1番	2番	3番	1番	2番	3番
a. 自然環境、生きもの	87	23	25	62	26	23	44	36	19
b. 地球温暖化防止、エネルギー	18	40	34	38	50	30	58	45	25
c. 資源の3R(ゴミの減量、再利用、リサイクル)	35	42	26	32	32	31	20	26	47

茨城県内中学校における環境教育実態調査報告書

学 年 順	1年			2年			3年		
	1番	2番	3番	1番	2番	3番	1番	2番	3番
d. 大気汚染や水質汚濁などの公害問題	0	22	30	13	27	34	21	32	35
e. その他	3	4	4	1	2	3	1	3	4
回答なし	4	17	29	2	11	27	4	6	18

1番を3ポイント、2番を2ポイント、3番を1ポイントと計算すると

学 年	1年	2年	3年
a. 自然環境、生きもの	332	261	223
b. 地球温暖化防止、エネルギー	168	244	289
c. 資源の3R(ゴミの減量、再利用、リサイクル)	215	191	159
d. 大気汚染や水質汚濁などの公害問題	74	127	162
e. その他	21	10	13
回答なし	75	55	42

学 年	1年	2年	3年
その他の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 筑波ジオパーク ● ボランティア論 ● 生活環境 ● 守谷市の野鳥の森木道づくり ● 自然災害 ● 地域活性化 ● 食品食物関係 ● 世界の環境 ● 環境と産業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 筑波山地域ジオパーク ● 生活環境 ● 守谷市の野鳥の森木道づくり ● 自然災害 ● 空気, 換気 	<ul style="list-style-type: none"> ● 筑波山地域ジオパーク ● 生活環境 ● 守谷市の野鳥の森木道づくり ● ESD ● 住居のエコ ● フェアトレード

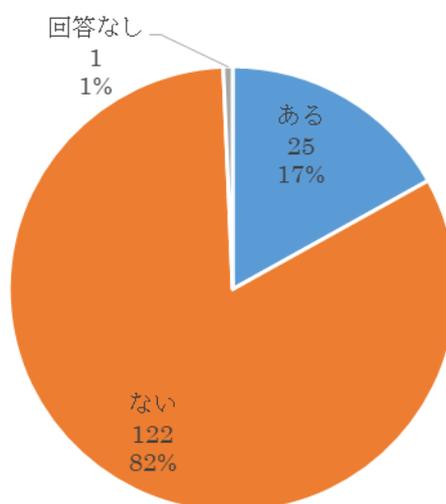
③ 環境教育の実施にあたって主に活用している教材を活用頻度の高いものから2つ、順に記入願います。

教 材	活用頻度		合計ポイント数 ^(注1)
	1	2	
a. 教科書	111	8	230
b. DVD	2	20	24
c. インターネット	23	58	104
d. 環境教育関連施設	1	3	5

(注1) 1を2ポイント、2を1ポイントとして計算。

教材	活用頻度		合計ポイント数 ^(注1)
	1	2	
e. 図書室	2	11	15
f. 公民館	0	1	1
g. 団体や企業、行政の出前講座	5	5	15
h. パンフレットや資料集など	4	37	45
i. その他	0	0	0
回答なし	0	5	5
回答数	148	143	-
回答率	65.8%	63.6%	-

④ 環境教育の実施にあたって連携している地域の団体はありますか？



⑤ ④の質問で「ある」を選ばれた方にお伺いします。どの団体と連携しているか連携頻度の高いものから2つ順に記入願います。

団体	連携頻度		合計ポイント数 ^(注2)
	1	2	
a. 地域の市民活動団体	6	5	17
b. 自治会・町内会などの地縁組織	3	2	8
c. PTA	5	6	16
d. 子ども会や育成会	1	0	2
e. 行政機関	8	4	20
f. 企業や地域の店舗	0	1	1

(注2) 1を2ポイント、2を1ポイントとして計算。

茨城県内中学校における環境教育実態調査報告書

団体	連携頻度		合計ポイント数 ^(注2)
	1	2	
g. その他	2	1	5
回答なし	0	6	6
回答数	26	20	-
回答率	100%	80%	-

連携頻度	1	2
その他の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 坂東総合高校 ● 大学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国営ひたち海浜公園

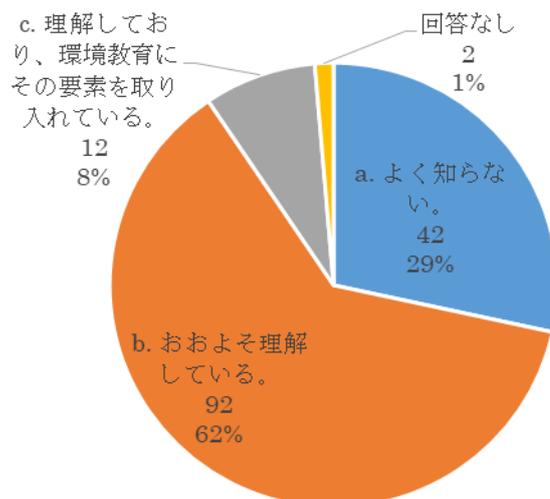
⑥ 環境教育に関して現在取り組んでいる活動を3つお選びください。強く該当するものの順に3つ記入願います。

現在取り組んでいる活動	該当する順			合計ポイント数 ^(注3)
	1	2	3	
a. 省エネ、ゴミ減量などを推進している。	48	36	23	239
b. 花植えなど校区美化活動に取り組んでいる。	72	51	7	325
c. 生徒会などで、環境保全のための自発的な組織がある。	17	30	21	132
d. 環境に配慮した商品などを優先的に購入している。	0	2	12	16
e. 生徒に環境に関する行事を案内している。	1	9	23	44
f. 環境に関する取り組みを地域や家庭に発信している。	2	4	21	35
g. 生きものを飼育している。	5	10	26	61
h. 里山保全などに取り組んでいる。	0	4	0	8
i. その他	2	0	4	10
回答なし	1	2	11	18

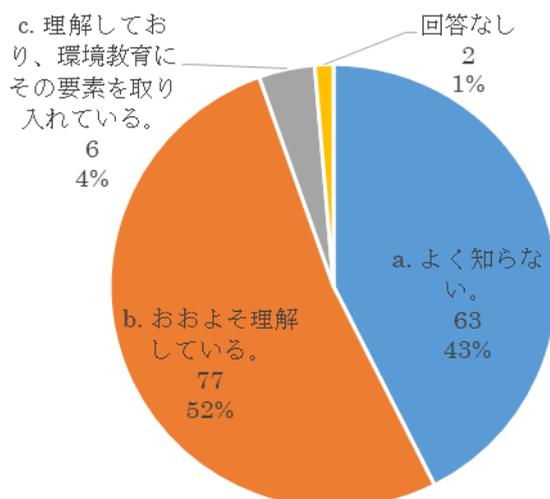
該当する順	1	2	3
その他の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● あやめ園整備事業に参加 ● グリーンカーテン設置 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のクリーン活動(写生会時) ● 資源ゴミの回収 ● 科学研究 ● お祭り後のクリーン作戦

(注3) 1を3ポイント、2を2ポイント、3を1ポイントとして計算。

⑦ 「持続可能な開発のための教育」(ESD)^(注4)についてご存知ですか。



⑧ 「持続可能な開発目標」(SDGs)^(注5)についてご存知ですか。



(注4) 国連を通じて、日本が中心となって発信した持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。グローバルな社会課題に対し、身近なところから解決に向けて取り組むことで、新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。その実施にあたっては、「多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性」といった要素を意識し、「批判的に考える力、未来像を予測して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度」を重視、伸ばすこととされる。

(注5) 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール（以下参照）・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なもの。「①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に保健と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさを守ろう、⑯平和と公正をすべての人に、⑰パートナーシップで目標を達成しよう」

⑨ 環境教育を実施するにあたっての課題は何ですか？3つお選びいただき、影響の大きいものの順に記入してください。

課題	影響の大きいものの順			合計ポイント数 ^(注6)
	1	2	3	
a. 教材やプログラムなどの準備	63	43	18	293
b. 授業時間の不足	64	44	8	288
c. 学習の場所選び	2	10	16	42
d. 指導できる教員の不足	5	18	22	73
e. 外部講師の不足	0	4	6	14
f. 予算の不足	2	5	15	31
g. 適切な指導方法	8	20	57	121
h. 特に課題はない	2	1	0	8
i. その他	0	0	1	1
回答なし	2	3	5	17

影響の大きいものの順	1	2	3
その他の内容	なし	なし	公務多忙

⑩ 環境教育を実施するにあたって茨城県行政に期待することは何ですか？2つお選びいただき、希望する順に記入してください。

期待すること	希望する順			合計ポイント数 ^(注7)
	1	2	3	
a. 情報、教材などの提供	100	18	4	340
b. 外部講師の派遣	14	32	8	114
c. 予算的支援	16	22	14	106
d. 学習の場所に関する情報提供	5	23	18	79
e. 他校の事例紹介	6	33	23	107
f. 研修の開催	1	14	6	37
g. その他	4	0	0	12
回答なし	2	6	75	93

希望する順	1	2	3
その他の内容	● 授業時間の確保	● 業務軽減	なし

(注6) 1を3ポイント、2を2ポイント、3を1ポイントとして計算。

(注7) 1を3ポイント、2を2ポイント、3を1ポイントとして計算。

⑪ 今後環境教育に関する教材を県が作成します。どのような内容を掲載してほしいですか。

テーマ

- 人間と自然の関わりについて
- 身近に触れることができる生き物についての内容
- 貴重な動植物の保護について
- 絶滅危惧種や外来種に関する内容
- 自然環境保護, 地球温暖化防止などの内容で, 各教科の学習との関連付けが分かる授業で活用しやすいと考える。
- 生物(野生)の保護
- 地球温暖化(同意見複数)
- (授業にそのまま使える、そして生徒の身近なところから世界への興味、関心が高まるような) 温暖化防止、自然環境保護の教材
- 生物の多様性、エネルギーの循環
- 県内の再生エネルギー事情(同意見複数)
- エネルギー、発電
- 省エネに関する内容
- 原子力関連
- 原発を含めた環境問題
- 資源の3Rについて(同意見複数)
- 身近で実践することができる3Rの方法など
- これまでのリサイクル技術の紹介
- 最新のリサイクル技術に関する番組
- 環境汚染について
- 海洋プラスチック汚染
- 海洋汚染について
- 水質調査についてのガイドブックや県内水環境の水質データ集などがあると研究の手がかりになります。
- 霞ヶ浦やその付近の河川の環境への取り組みや市民活動団体の取り組みについて詳しい資料を掲載してほしい。
- リサイクルの現状(過程や効率)
- 身近な環境問題に関心をもつきっかけとなれば(同意見複数)。
- 県内で発生している環境問題の事実について, 取り上げてほしい。
- 県内での取り組みについて掲載されていると、より身近な問題として考えていけるのではないかと思います。
- 県に特化した教材の開発を望みます。
- 各学校、地域に応じた内容
- 地域にあった教材(多種あると思うが)
- ジオパークについて
- 近年の異常気象について
- 身近な自然災害や自然環境に関する内容
- 震災によって起きる災害(土砂災害や液状化など)
- 日本や世界における環境についての課題と今後の政策や取り組みについて
- 日本が発展途上国に支援できることは何か。
- 最新の地球上の課題
- 世界規模で問題になっている様々な環境に関する柱のリストがある上で、茨城県内の環境問題に関する話題リスト(水と湖、海岸、採掘資源・エネルギー・食料事情・ゴミ・交通・人口など)があり、環境に関する積極的な取組を学校レベルだけではなく、地域産業や各地区での積極的な取組としての情報があると、自分たちの地域でできることを考えていくきっかけづくりとアイディアの案として考えやすい。
- ESDやSDGsについて(同意見複数)
- ESDやSDGsについて理解している教員は多くない推察します。それらと環境教育との関連した教材があると良いと思います。
- ESD、SDGsに関しての指導資料

	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ問題, 大気汚染・土壌問題, エネルギー問題など具体的な指導内容(指導案等があると助かります。) ● ゴミ問題、ゴミをそのまま自然環境へ放置するとどうなるか ● 食品ロスの問題 ● DVD などの映像教材で、内容としては、地球温暖化が進むと、自分たちの生活がどうなってしまうのか、また、自然がなくなったり、生物がいなくなったりするとどうなるのかなど、日常生活において危機を感じるような内容や、意識すれば改善できそうな内容。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ESD が気になります。未来をにう生徒たちにぜひ伝えてほしいです。 ● 導伝性プラスチック ● iPS 細胞 ● 粒子線を用いた材料測定 ● 第 17 回世界湖沼会議について ● 上水道、下水道の現状
<p>方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の小さな行いが、大きな行いへとつながっていく具体例の提示(生徒も分かっていることも多々あると思いますが・・・) ● 家庭で取り組めること。 ● 生徒が実感として学べるような、身近な問題を扱ったものや、実生活と大きな環境問題の関連性を学べるもの。 ● 学校においても継続が可能な教材をお願いします。担当者が人事異動でいなくなったらできなくなってしまう環境教育にならないようにしたいです。 ● 学校の敷地内で十分に活用でき、準備の手間がかからないもの ● 1 (もしくは 2) 単位時間で完結するもの ● 深い内容とするのではなく環境について学び、取り組んでいくのは大事なんだというきっかけ作りとなるシンプルなものとしてほしい。 ● 生徒が簡単に活用できる内容 ● 教員が負担なく活用できる内容 ● 茨城県やそれぞれの市町村で取り組んでいることなど生徒たちの身近な所から取り組める内容 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 時間の授業展開, ワークシート, 授業で使う情報が一つになっており、誰でも教えられるようになっていく内容。特に、環境教育に関するデータは掲示物がつくれるように、電子データやインターネット上、教育情報ネットワーク上で共有できるようにしてほしい。 ● 生徒が理解しやすい内容構成 ● 生徒が自発的・自主的に課題を見つけられるような教材を期待しています。 ● 環境問題について、現状とその対策 ● 茨城県の現状に触れた内容 ● より簡便で有効性のあるものがほしい。 ● それぞれの発達段階で環境保全等に対する意識を高めるための手立てや取り組み ● 身近にできる環境教育にはどのようなものがあるか。 ● 児童生徒の発達の段階に応じた内容の教材 ● 授業にからめやすい内容や生徒に身近な内容 ● 実際に実行できる教材 ● すぐに実践できる授業の紹介

	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップ形式の参加型学習 ● まちづくりなどに生かせる学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境教育を推進するにあたり、具体的な時間の確保の仕方にはどのような例があるか。
<p>他教科 や学校 生活など との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教科との関連が教材ごとに分かる とよいと思います。 ● 「各教科のどの単元と関連があるか」 が明示されていると、教科の学習でも 活用しやすくなると思います。 ● 各教科の学習内容とリンクできるよ うな横断的に活用できる教材(教材の 中に、〇〇科の〇〇の単元)というよ うなもの ● 学校の授業に取り入れやすいように リンクしたように ● 授業で使用できるよう、理科や社会の 指導内容(教科書)との関連が強い教 材にしてほしい。 ● 各学年にあった、関連性・継続指導で きる環境教育についての情報 ● 各教科の教科用図書との関連ページ が示されっていると使いやすいと思 います。(例えば技術家庭科, 理科, 社会科) ● 理科, 社会, 家庭科等多様な教科で使 えるもの。 ● 主に社会・理科・家庭科の授業との関 わりが強いため、教科書と連携した内 容構成にしていただけるとありがた い。 ● 理科、家庭科の教科書に添った内容。 授業中に教科書と一緒に開いて学習 できる。 ● 教科横断的な内容 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学級活動としての教材だけでなく、通 常の学校生活における活動について (例えば、清掃活動や資源回収など) についての内容が含まれれば、活用し やすいと考えています。 ● 学んだことを学校生活や家庭生活で実 践できる内容を紹介する。 ● 指導要領に則した、学習とつながりの ある教材 ● 社会科や他教科との関連性がある教材 を作成していただけると助かります。 ● 理科や社会科の教員だけでなく、学活 や総合的な学習の時間等で活用でき よう、全教員が取り扱えるものにして ほしい。 ● 実際の教科内で使用できる教科書の補 助教材のような内容 ● 現在、理科・家庭科を中心に環境に関 する学習を行っています。教科書も新 しくなりますので、教科指導との関連 を明確にし、補助教材として活用でき るようにしていただければと思いま す。 ● 各教科、領域、指導計画に基づいて いる、知っている、学習している知識 を用いて学ぶことができる様にしてほ しいです。 ● 社会科における「持続可能な開発のた めの教育」に関する授業の取組事例に ついて
<p>手 法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、最も問題となっていることにつ いて、現状を知ることができる映像や 資料、データ。 ● DVD 等の ICT ● ②の選択肢にある a~d の内容を自分 の身近な問題としてとらえられるよ う映像教材。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会づくりのために現在行 われていること、課題。個人でもでき ること等。 ● 様々な環境に関するキットの効果的な 使用方法やワークシート等。 ● 自然のもつ素晴らしさや不思議さを体 験できるキットのような教材を開発し

- 「a 自然環境保護、生きもの、b 地球温暖化防止、エネルギー、c 資源の3R（ゴミの減量、再利用、リサイクル）、d 大気汚染や水質汚濁などの公害問題」を網羅した DVD 等があると助かります。
- 理科アイテムを活用した DVD
- 先端技術を利用した内容
- いばらき理科アイテムのような、映像資料とワークシートが一体となったものがあれば、うれしいです。
- ワークシート等を含めた内容
- 環境問題の原因や現状などの資料や、調べ学習などをするとき活用できる効果的なワークシートなどがあるとよいと思います。
- 生徒ができる簡単な実験。
- 環境教育に関する茨城県内の具体的なデータ
- 事例集
- 無理なくできる環境教育の実践例
- 環境教育に関する指導事例(同意見複数)
- 環境教育に取り組む時数が不足しているので、取り組み方の例を掲載してほしい。
- 環境教育の実践を掲載したり、各場所での取り組みの紹介を期待します。
- 取り組みの例や具体的な実践内容が掲載されていると参考になります。
- ネイチャーゲーム
- 県内で環境美化、環境保全等に取り組んでいる事業を紹介していただいたり、県内で問題になっている事案等があれば、その事例や課題などを掲載したりしていただきたい。
- 県や各市町村が実施している具体的な活動内容など
- てほしい。各学校でできれば生徒個別に体験できるようなものを開発していただければと思います。
- 中学校が探究活動したり、プレゼンテーション準備に利用したりして、理解を深めたり、図や資料などで視覚的資料として利用したりするものがあると授業で使用しやすいです。
- 短時間で推進して、年間を通して実施できる教材の提供。
- すぐに授業に使えるような教材
- 環境についての教科書として、基本的な内容から学習できるような教材にしていただくと活用しやすい。
- 家庭でもすぐに実行できる内容
- これをやると、どのぐらい効果があるのかという指標
- 各教科で、授業出使えるように各分野を10分程度にまとめたDVD教材
- 持続可能な環境開発についての具体的な事例についての資料
- SDGs のカードを用いた学習の進め方や実践事例の紹介
- 持続可能な開発で成功している実践例を紹介してほしいです
- 環境保全についての具体的な取り組みについての資料等
- 都市部のみならず、地方の農村地域や過疎地域などでの事例なども取扱って頂けるとありがたい。
- 生徒の環境教育に対する興味・関心が高まる教材
- 身近で、どの生徒も理解・共感できる内容。実践・継続可能な行動目標と、その成果や効果などを詳しく分かりやすく掲載して欲しい。
- より深い知識を付けたいので、最新の詳しい環境に関する内容を掲載していただきたいです。
- 地域の実態に合った教材を取り上げて

デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ● カラー刷りで、大きさページ数が適切なもの。 ● 文章だけでなく、生徒の興味・関心を引き出す内容の工夫 ● 汚染されている地域の映像 	<p>いただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文字が多くイラストを多用するか、マンガで読み進められるもの。 ● 生徒が関心を高めて主体的に取り組める内容（写真、グラフ、イラストなど） ● 絵や図を取り入れた、児童生徒でも分かりやすい内容に構成してほしい。

⑫ その他、環境教育に関するご意見をお聞かせください。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 準備や実践を含め、時間的な制約が非常に厳しいのが現状です。 ● 外に出て授業を行いたいが、1時間しか授業時数がないので、なかなか外に出ることができない。 ● 現場の多忙さが増すだけなので、安易に新たなものを増やさないでほしい。やるなら、それに相対する何かを減らす処置を行政が主導し、時間の調整を成り立たせた上でやってほしい。 ● 時間の確保が難しい。教科との関連から内容を深めていくことができればと考えている。 ● 授業時間の中で、確保することが難しい。時数確保について、他校ではどうしているのかを知りたい。 ● 環境教育が重要なことは、十分承知していますが、環境教育を重点にする余裕が学校にはありません。できる範囲で、少しずつ取り組んでいきたいと思えます。 ● 各教科、授業時間の確保・学校行事・地域行事への参加など教育課程の編成に苦労していると思う。それぞれの教科等の中で、環境教育に関する単元の充実を図ればと思う。現在は、地域のボランティア活動（資源ゴミ回収、新川清掃）がメインである。 ● 環境教育を行うしても時間の少なさや、教材不足などを感じました。教材プログラムの提供や外部講師などの手助けなどがあると助かります。 ● 現在の学校生活では、実施時間・講師など含め、とてもゆとりが無い状態であるため、各教科の単元で指導するのが精いっぱい状態です。そんな中で、さらに環境教育を充実させることに頭を悩ませております。 ● カリキュラムマネジメントや働き方改革が騒がれている今日、環境教育だけの時間を確保するのは困難です。例えば理科教材との融合や他の教育活動との同時開催ができるような形が望ましいと感じています。 ● 学校と地域が結びついた活動となると、なかなか生徒全員を参加させることが難しい。一部の生徒だけになってしまう。 ● 社会科や理科の授業内で指導をしている。これまでも子どもたちは、学校教育等を通して環境については学んでいるが、行動が伴わないのが現状である。環境を整える大切さは分かっていることではあるが、一人一人の意識に温度差がある。 ● 学校では、児童生徒向けのSDGsに関する資料や教材が不足していて、指導が進んで
----	--

	<p>いないと思います。</p>
<p>必要な支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境教育に限らず、新しいものをやろうとするには、何かをけずらないといけないと思います。本当に力を入れていくとすれば、環境教育に費せる時間、教材、お金の確保が必要だと思います。 ● 予算が必要だと思います。バス代など配慮してもらえれば良いなと思います。 ● 環境教育を推進したいが、地域によって実態が違う。地域に密接した情報が提供されると教えやすいと感じている。 ● 例えば、「技術・家庭科」や「理科」では、エネルギーや環境との共存に関する内容があります。その分野での指導も含めて考えていきたいと思います。 ● 指導する教員側が研修を積むことが必要であると考えます。
<p>取り組み事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在本校では、各教科の単元の中で取り上げているのが実態です。また、校内の実践として節電、花壇づくり(美化委員会)、夏季休業中の千波湖クリーン作戦があります。 ● 理科の学習や国語の説明文等で生徒は環境について学んでいます。 ● 学校では、授業内容に関連させて指導していくことを中心に、総合的な学習の時間(縦割り選択式)や学校行事の中でもESDを意識した取組を行っています。
<p>教材に関する提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な箇所より学校に「～を下さい」と降りてくるが、ほぼパンク状態にあるのが学校現場である。⑩にも記述したが「きっかけ」となるような内容としてほしい。「素晴らしい環境教育」より「素晴らしい環境教育のきっかけ」としたい。 ● データは、最新のものを使うことが多いと思うので、インターネット上でいつでも情報が取れるようにしてほしい。毎年更新でなくてもよいので、2年に1度など更新されるとなおありがたい。 ● 外部の協力機関一覧があるとよいと思います。 ● 生徒にとって、副読本だけでは興味を引くものでなくなってきているので、映像教材など視覚で理解できるようなものもつくっていただけるとありがたいと思っています。 ● 教科書に関連した環境教育の補助教材があるとありがたいです。 ● 大切だということは分かるが、自分たちにどう返ってくるのかを実感させる内容が必要。 ● 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」について小中学校でも分かるような教材がほしい。 ● 環境を守っていくことが大切なのではなく、環境を保全しながらも人間の活動にとっての開発は必要なのであるから、そのことを十分に学習内容に取り入れていくことが大切であると考えます。カキを育てるためには、森を育てなければならない。森を育てるためには、山を開発しなければならない。というようなこと。 ● 完成を楽しみにしております。
<p>環境教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちの未来によりよい環境を整備することは重大な使命です。より研修し、環境教育を充実させたいです。 ● 県は学力向上推進に力を入れていますが、生徒の心を豊かにするために環境教育は不可欠だと考えます。 ● 環境教育を取り入れるカリキュラムや、推奨するような施策を考える必要があると思

その他

います。

- 目の前の食をとっても、毎日出る「ゴミと呼ばれてしまう」貴重な資源をとっても、生徒たちにもう少し目を向けさせる必要性を強く感じている。少なくともゴミなんてないことを伝える話をしていかななくてはいけないと考えている。100年後にも地球を残していくなら、はっきりと「環境」という教科のようなものを世界レベルで立ち上げ、教科の学力以上に大切にしていかななくてはいけない時期にきていると考えている。
- 生徒にとって身近なことなので、より分かりやすい授業を目指したいです。
- ESD は、持続可能な開発のための教育ということで、自然環境や資源、エネルギーなど様々な分野で、キーワードに挙げられるかと思います。身近で実践できる内容も取り入れ、環境教育を推進していければと思います。
- 継続して取り組んでいくことが大切な活動だと思っています。よろしくお願いします。
- 再生可能エネルギーの開発を推進していく働きかけを国にしてほしい。
- 環境教育に関する知識がまだ身に付いていないので実践的な研究を行いたい。
- ゴミの分別や花植を始め、生徒達が普段の生活から実施していけるような環境教育を実施していけるように努めていきたいと思っています。
- 生徒会組織に働きかけ、自発的な取組となるよう工夫していきたい。
- 大切な教育であることはわかっているが、環境教育の為にだけ教育課程を位置付けることが困難。委員会活動等で意識を高めるのがよいと感じる。
- 自分たちの生活の見直しを振り返らせるような教育活動をしたい。
- 子どもだけでなく、大人たちに啓発をするような発信がもっともっと必要だと感じます。モラル教育も含めて。
- 学校の電力や水道使用量などがすぐわかるようなシステムがあると、実生活に基づいて考えることができると思います。
- 学校や地域での取組がより良い社会につながっている、ということを実感させたいと考えながら環境教育に取り組んでいる。そのためにも、現在の授業での取組を見直し、今後提供される具体的な教材を活用しながら、さらなる授業改善に取り組んでいきたい。
- 環境教育は、領域が大変広いので指導に苦労しています。また、各教科による横のつながりと、指導の系統性をもたせた年間計画の作成（ひな形があれば助かります。）が大切だと思っています。
- 生徒や地域の方々がより関心の高まるような環境教育をしていきたいと思っています。
- 地球温暖化と自然災害について理解を深めたい。
- 地球温暖化の危険性や自然は大切であることなど、色々なところで耳にはしているが、実際には地球に対する危機感をそこまで感じていない。茨城県だけでも、簡単に環境保全に取り組める方法があれば取り組んでみたいと思う。
- 今後、しっかり取り組んでいきたいと思っています。
- 積極的に取り組んでいきたいと思っています。
- 今後も学校全体で、環境教育に取り組みたいです。

茨城県内中学校における環境教育実態調査報告書

茨城県内中学校における環境教育実態調査 アンケート

返信先: 認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ 担当: 大野 回答期限: 平成 30 年 9 月 28 日 (金)

FAX: 029-291-8991

eメール: info@npocommons.org

市町村名	
学校名	
担当者名	
電話番号	
eメール	

質問	回答欄			
	学年	学年合計時数		各学年のクラス数
① 学年ごとの年間のおおよその環境教育実施時数を教えてください。	1			
	2			
	3			
② 実施している環境教育の分野は何ですか? 頻度の多いものを選択肢の中から 3 つお選びいただき、頻度の多い順に記入してください。	選択肢	a 自然環境保護、生きもの b 地球温暖化防止、エネルギー c 資源の 3R (ゴミの減量、再利用、リサイクル) d 大気汚染や水質汚濁などの公害問題 e その他 (内容についても以下にご記入ください)		
	学年	1 番	2 番	3 番
	1			
	2			
③ 環境教育の実施にあたって主に活用している教材を活用頻度の高いものから 2 つ、順に記入願います。	a. 教科書	b. DVD	c. インターネット	
	d. 環境教育関連施設	e. 図書室	f. 公民館	
	g. 団体や企業、行政の出前講座	h. パンフレットや資料集など	1	2
④ 環境教育の実施にあたって連携している地域の団体はありますか? 該当するものに○を付けてください。	a あり			
	b ない			
⑤ ④の質問で a を選ばれた方にお伺いします。どの団体と連携しているか連携頻度の高いものから 2 つ順に記入願います。	a. 地域の市民活動団体	b. 自治会・町内会などの地縁組織	c. PTA	
	d. 子ども会や育成会	e. 行政機関	f. 企業や地域の店舗	
	i. その他 ()		1	2
⑥ 環境教育に関して現在取り組んでいる活動を 3 つお選びください。強く該当するものの順に 3 つ記入願います。	a 省エネ、ゴミ減量などを推進している。			
	b 花植えなど校区美化活動に取り組んでいる。			
	c 生徒会などで、環境保全のための自発的な組織がある。			
	d 環境に配慮した商品などを優先的に購入している。			
	e 生徒に環境に関する行事を案内している。			
f 環境に関する取り組みを地域や家庭に発信している。				
g 生きものを飼育している。				
h 里山保全などに取り組んでいる。	1	2	3	
i その他 ()				

茨城県内中学校における環境教育実態調査報告書

茨城県内中学校における環境教育実態調査 アンケート			
質問	回答欄		
⑦ 「持続可能な開発のための教育」(ESD) ^(注1) についてご存知ですか。該当するもの1つに○を付けてください。	a よく知らない。	b おおよそ理解している。	c 理解しており、環境教育にその要素を取り入れている。
⑧ 「持続可能な開発目標」(SDGs) ^(注2) についてご存知ですか。該当するもの1つに○を付けてください。	a よく知らない。	b おおよそ理解している。	c 理解しており、環境教育にその要素を取り入れている。
⑨ 環境教育を実施するにあたっての課題は何ですか？3つお選びいただき、影響の大きいものの順に記入してください。	a. 教材やプログラムなどの準備	b. 授業時間の不足	c. 学習の場所選び
	d. 指導できる教員の不足	e. 外部講師の不足	f. 予算の不足
	g. 適切な指導方法	h. 特に課題はない	1 2 3
	i. その他 ()		
⑩ 環境教育を実施するにあたって茨城県行政に期待することは何ですか？2つお選びいただき、希望する順に記入してください。	a. 情報、教材などの提供	b. 外部講師の派遣	c. 予算的支援
	d. 学習の場所に関する情報提供	e. 他校の事例紹介	f. 研修の開催
	g. その他 ()		1 2 3
⑪ 今後環境教育に関する教材を県が作成します。どのような内容を掲載してほしいですか。			
⑫ その他、環境教育に関するご意見をお聞かせください。			

ご協力ありがとうございました。生徒のため、地域のために、素晴らしい環境教育を引き続き実現させましょう。

(注1) 国連を通じて、日本が中心となって発信した持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。グローバルな社会課題に対し、身近なところから解決に向けて取り組むことで、新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。その実施にあたっては、「多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性」といった要素を意識し、「批判的に考える力、未来像を予測して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力的な態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度」を重視、伸ばすこととされる。

(注2) 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール(以下参照)・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なもの。
 「①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に保健と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさを守ろう、⑯平和と公正をすべての人に、⑰パートナーシップで目標を達成しよう」